



奉祝 天皇陛下御即位

氷川神社
社報 第十一号

武蔵一宮



奉祝 天皇陛下御即位

例祭・神幸祭齋行



例祭 勅使参入

八月一日午前十時より、令和初の例祭を、畏き辺りより勅使として十時和孝掌典様の御参回のもと、厳肅に行い、皇室の弥栄と氏子崇敬者の幸福を祈念致しました。神社本庁統理の御名代に神社本庁総長である石清水八幡宮の田中恆清宮司(京都府)、大野総代会会長はじめ氏子総代、本年の祭典年番長である仲町の川鍋副総代、埼玉県神社庁庁長である三峯神社の中山高嶺宮司、県内神職、崇敬者など約三百名の御参列を頂き、参道沿い



神幸祭 還御

に山車神輿が参集致しました。翌二日は午後三時より神幸祭を齋行致しました。神輿などの担ぎ手である輿丁として旧神領地(堀の内、土手、大成、上落合、新開、東大成)の各町内氏子、また氏子青年会の会員計九十五名に御奉仕頂きました。



仲町神輿

皇室と菊

十六弁の菊花の紋は皇室の御紋章で特に江戸時代以前には伊勢の神宮などの一部の神社だけが使用しておりました。明治二年の太政官布告により四社(伊勢の神宮、宇佐神宮、上賀茂神社、下鴨神社)以外では使用禁止となり、明治四年には上記の四社も禁止されましたが、明治十二年の改令で官国幣社では使用して良い事となりました。現在の社殿が造営された際の社格は、官幣大社でしたので菊の紋がございませう。当社では毎年秋に武蔵菊花会の皆様による菊花展が開催され、本年で七十回目を迎えます。丹精して作られたダルマ、盆養、懸崖などあわせて約四百鉢の菊が境内を彩る予定で、七五三詣のお祝いを一層華やかに盛り立てます。一昨年前の明治天皇御親祭百五十年祭記念大会からは、皇室と縁のある十六枚花卉の菊花も作られるようになっております。菊花を愛で、御大札の秋を皆様とともに奉祝したいと存じます。



菊花展廻廊展示



十六枚花卉菊花



拝殿の菊花紋

御代替りの儀式 即位礼

御代替りの儀式は様々にありますが、讓位、踐祚の式、即位礼、大嘗祭と分ける事が出来ます。踐祚とは、本来、皇位を踐むという意味で、すなわち天皇が皇位につかれる事美を指します。踐祚の後、陛下がそれを公式に国内や諸外国へ宣明する事が「即位」です。現在は「踐祚」の語の規定がないため両者は区別されず、平成の御代替りではすべて「即位」とされています。即位礼の主要な儀式には、「賢所に期日奉告の儀」、「即位礼当日賢所大前の儀」、「即位礼正殿の儀」、「祝賀御列の儀」、「饗宴の儀」、「一般参賀」などがあります。この内、「賢所に期日奉告の儀」は、すでに五月八日に執り行われております。(神社本庁「御代替り」より抜粋)



即位礼正殿の儀 (H2.11.12)



一般参賀 (H2.11.18)



祝賀御列の儀 (H2.11.12)

写真提供：宮内庁

即位礼正殿の儀 十月二十二日

皇位につかれた天皇陛下がその即位を全国の国民、諸外国に対し高らかに宣明します。儀式の執り行われる皇居正殿松の間の中央には天皇陛下が登られる高御座が、その脇には皇后陛下が登られる御帳台が据えられ、さらに正殿の中庭には、数々の「旛」と呼ばれる仗旗が色鮮やかに林立し、弓や太刀などを手に古からの装束に身を包んだ参役者、供奉員らが整然と控えます。

黄櫨染御袍の御束帯をお召しになられた天皇陛下は、高御座に登られ、国民の代表である内閣総理大臣を前にして即位に際してのおことばを述べられます。これに奉答して内閣総理大臣は陛下へ御祝の言葉(寿詞)を奏上するとともに、萬歳を三唱し、国民挙げて陛下の御即位を奉祝するのです。

祝賀御列の儀 十月二十二日

即位礼正殿の儀の後、天皇皇后両陛下は、パレードを行い、広く国民の祝意をお受けになられます。これは平成の御代替りから始められた儀式です。お住まいの赤坂御所へ向かわれる沿道に約十二万人が詰めかけ陛下の御即位を奉祝しました。

一般参賀

天皇陛下は、御即位を奉祝する国民の参賀を、皇居長和殿ベランダより受けられます。平成の御代替りでは、八回にかけ延べ十万人を超える国民から参賀を受けられ、陛下は感謝の意を表されておことばを述べられました。

御代替りの儀式 大嘗祭



大饗の儀 (H2.11.24)



即位礼及び大嘗祭後神宮に親調の儀 (H2.11.27)



大嘗宮の儀 (悠紀殿供饌の儀) (H2.11.22)

毎年秋、天皇陛下は、その年の新穀を、御祖先である天照大御神をはじめ、神々にお供えし感謝を捧げる「新嘗祭」を宮中で御齋行になります。なかでも、陛下が御即位後初めて行われる新嘗祭が「大嘗祭」です。大嘗祭は、天皇御一代に一度行われる祭祀で、御位につかれるうえで不可欠なものであり、数ある祭祀の中で最高の重儀とされています。大嘗祭の主要な儀式としては、「齋田点定の儀」、「齋田拔穂の儀」、「大嘗宮の儀 悠紀殿供饌の儀・主基殿供饌の儀」、「大饗の儀」、「即位礼及び大嘗祭後神宮に親調の儀」などがあり、この内、「齋田点定の儀」は五月十三日に執り行われております。

大嘗宮の儀 (悠紀殿供饌の儀・主基殿供饌の儀) 十一月十四日

大嘗宮の悠紀殿と主基殿において、夕方から深夜にかけて引き続き祭祀が執り行われます。天皇陛下はまず御身を清められると、純白の御祭服をお召しになり祭祀に臨まれます。そして、悠紀・主基両殿にお入りになられると、米をはじめ様々な神饌をお供えになり、御告文を奏された後、その神饌を陛下御自身もお召し上がりになります。

大饗の儀 十一月十六日及び十八日

お祭りの最後には祝宴(直念)があります。「大饗」とは大嘗祭の直会のことです。大嘗祭翌日から二日間に亘って行われます。ここでは大嘗祭で捧げられた神饌のおさがりが、参列した国民の代表に分けられます。天皇陛下と国民とがともに大嘗祭の神饌のおさがりを戴くことで、その絆は一層強いものになるといえるでしょう。

即位礼及び大嘗祭後神宮に親調の儀

即位礼及び大嘗祭を終えられた天皇陛下は、皇后陛下とともに伊勢の神宮に親ら御参拝され、天照大御神にその旨を御奉告されます。平成の御代替りでは、天皇陛下は黄櫨染御袍の御束帯を、皇后陛下は十二単をお召しになり、劍璽を伴い、外宮、内宮の順に御参拝されています。

また、伊勢の神宮への御参拝に続き、初代神武天皇、そして近縁の天皇がお鎮まりになる御陵にも御参拝され、御大礼を無事終えられたことを御奉告されます。

祭事曆

当社では毎日の日供祭の他、年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穡と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

七月一日 月次祭

十五日 献詠祭(兼題 泉)

三十一日 例祭前日祭

八月一日 例祭

二日 神幸祭

十五日 献詠祭(兼題 水)

護国神社 みたま祭

九月一日 月次祭

十五日 献詠祭(兼題 秋の田)

敬老祭

二十三日 秋季皇霊祭遥拜式

秋分祭

御大礼に関する祭儀の予定

・ 十月二十二日 即位礼当日祭(中祭)

・ 十一月十二日 臨時大祓

・ 十一月十五日 大嘗祭当日祭(大祭)

※例年行われております新嘗祭は、本年は大嘗祭当日祭斎行のため行いません。敬神講社大祭は十一月二十三日に斎行予定です。



例祭 東游



例祭



橋上祭 神楽奉奏



神幸祭 渡御

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 島崎 英子 | 高橋 憲房 | 金田 石城 | 秋山 静子 | 牧田 範男 | 牧野 安甫 | 田邊 勝江 | 堀澤 節 | 内田 すず子 |
| 清水 昌子 | 山北 知子 | 薮島 雲外 | 加藤 正 | 飯野 直紀 | 小林 瞳 | 山田 郁子 | 寺井 朴堂 | |

(順不同、敬称略)

雪洞書画奉納者



例祭奉納雪洞

社頭往来

祭祀舞研修会

七月三日、四日の二日間、静岡市鎮座翁稻荷神社宮司の牧田明子先生を講師にお招きし、今年度採用の出仕補を中心に豊栄の舞の研修会を開催致しました。豊栄の舞は正式参拝等で使用する他、本年は観月雅楽演奏会でも奉奏致します。



七五三セットプラン説明会

七月五日より貸衣裳と写真撮影がセットになった七五三の説明会が始まりました。



AED救命講習

七月九日、大宮消防署の指導のもと、AEDの使用方法や人工呼吸等救命講習を行いました。AEDは社務所他、神札所に設置しております。



テントウエイト奉納

七月十一日午前十時、株式会社

社マスセイ様にテントウエイト二十kgを五十個奉納頂き、増田勝巳様以下五名参列のもと奉納奉告参拝を執り行いました。



氷川はたるの会勉強会



七月二十三日午後一時より、社務所小ホールにて氷川はたるの会の勉強会を開催致しました。講師に芝浦工業大学の渋江桂子先生をお招きし、蛭と自然環境再生における近年の現状と課題について御講義頂きました。

例祭前清掃奉仕

七月二十六日午前九時より例祭前の神域清掃奉仕が行われました。本年の参加者は当番町内である日進町、櫛引町、宮前町の氏子の他、氏子青年会、敬神婦人会、八雲会、解脱会の皆様など約百四十名でした。



鳥居奉納奉告祭

七月二十六日午後三時、稲荷神社にて今般鳥居の奉納を頂きました株式会社エバンス様参列のもと、奉告祭を執り行いました。



武蔵野銀行小麦奉納

七月二十九日午後三時、株式会社武蔵野銀行様より「見沼たんぼ小麦プロジェクト」で収穫された小麦の奉納を頂き奉告参拝を執り行いました。



平家ボタル奉納



八月四日、越谷ホテルを育てる会会員により、平家ボタルの幼生の奉納がございました。

助勤説明会

令和二年正月に御奉仕頂く助勤奉仕の希望者に向け説明会を実施致しました。一日から七日までで男子約三十名、女子約百五十名募集の予定です。八月二十五日に第一回説明会、九月二十二日に第二回説明会を実施致しました。



婚礼展示会

八月二十五日午後一時より四時まで呉竹荘にて婚礼展示会が開催されました。婚礼衣装や引出物の展示の他、写真や動画撮影の相談などを承り、三十四組の方々に御来場を頂きました。



天下大祓齋行

八月三十日正午、舞殿にて神道青年全国協議会主催、埼玉県神道青年会主管の天下大祓が齋行され、百二十名の方が参列されました。尚、当社の臨時大祓は十一月十二日に齋行予定です。



次回は一月下旬に開催される予定です。

雅楽・祭祀舞合同研修会

九月四日、五日埼玉県神社庁にて雅楽・祭祀舞合同研修会が開催されました。五日には二十五名の参加者が正式参拝の後、舞殿にて豊栄の舞、朝日舞、管絃の越殿楽の奉奏を行いました。



柳生心眼流兵法奉納演武

九月八日午前十時、正式参拝の後、舞殿にて柳生心眼流兵法柳正館会員により奉納演武がございました。



さいたま市職場体験

さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」で九



月十日から十二日まで大成中学校の生徒三名を受け入れました。境内清掃や御札の授与の他、最終日には舞殿にて豊栄の舞を奉奏頂きました。

敬神婦人会秋の研修旅行

九月十一日から十三日まで第七十回全国敬神婦人大会広島県大会にあたり敬神婦人会の会員二十一名参加のもと、研修旅行が行われました。厳島神社(広島県)、大山祇神社(愛媛県)を正式参拝致しました。



吟道奉賛会

九月二十二日午前九時半、日本吟道奉賛会により第四十四回吟詠剣舞奉納大会が行われました。午前は舞殿にて、午後は呉竹荘に移動し、詩吟が奉納されました。



氏子総代会研修旅行

九月二十五日より二十七日まで二泊三日の行程で氏子総代会研修旅行を実施、三十三名が参加致しました。函館八幡宮を正式参拝の他、北海道神宮参拝、五稜郭や函館山、余市ニッカウ



九月二十九日、埼玉県茶道協会による秋の茶会が勅使館及び呉竹荘にて開催され、約四百名の参加者で賑い、茶の湯を楽しまれました。

埼玉県茶道協会秋の茶会



井スキー工場などを見学致しました。

大宮明るい社会づくりの会様



- ・阿含宗埼玉道場
 - ・大宮明るい社会づくりの会
 - ・川元麻実子様以下奉仕員
 - ・武蔵コーポレーション株式会社
 - ・みずほ証券株式会社
- (五十音順、敬称略)

参道の清掃活動を頂きました皆様の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。

参道清掃奉仕御礼



七月の奉納献華

- | | | | |
|-------|------|-----|------|
| 古流松藤会 | 岩波理豊 | 池坊 | 草谷智花 |
| 草月流 | 沖山草俊 | 桂古流 | 小林華侑 |
| 古流松藤会 | 川嶋理智 | 桂古流 | 高橋典花 |

- 七月
- 一日 職員連絡会議
 - 三日 翁稻荷神社 宮司牧田明子
 - 三日 祭祀舞研修会
 - 四日 祭祀舞研修会
 - 七日 参議院議員 大野元裕
 - 七日 参議院議員 大野元裕
 - 七日 武蔵菊花会菊作り研修会
 - 十一日 株式会社 マスセイ
 - 二十二日 メキシコサッカー少年団
- 八月
- 四日 越谷ホテルを育てる会
 - 十一日 武蔵菊花会菊作り研修会
 - 二十五日 前鳥神社 氏子会並崇敬会 (神奈川県平塚市)
 - 二十五日 婚礼展示会
 - 二十五日 助勤説明会

正式参拝及び諸会議

(敬称略)

- 九月
- 三日 さいたま観光国際協会
 - 四日 雅楽・祭祀舞合同研修会
 - 五日 雅楽・祭祀舞合同研修会
 - 六日 川口異業種交流プラザ
 - 八日 柳生心眼流兵法柳正館
 - 十二日 関東護国神社会
 - 十五日 神道天行居
 - 十五日 武蔵菊花会菊作り研修会
 - 十五日 職員連絡会議
 - 二十二日 助勤説明会
 - 二十二日 日本吟道奉賛会
 - 二十六日 埼玉地方本部
 - 二十八日 清掃奉仕の会(玉砂利奉納)
 - 二十九日 木下サークス株式会社
 - 二十九日 宜蘭縣冬山郷公所
 - 二十九日 解脱会 大宮土呂支部



八月の奉納献華

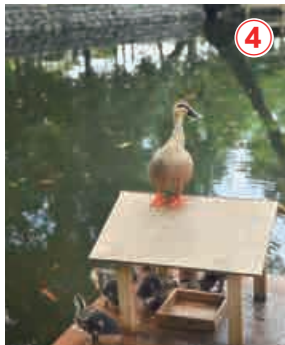
- | | | | |
|-------|------|--------|------|
| 古流松藤会 | 岩波理豊 | 古流松藤会 | 川嶋理智 |
| 池坊 | 草谷智花 | 桂古流 | 高橋典花 |
| 草月流 | 沖山草俊 | 草月流 | 竹下尚峰 |
| 桂古流 | 小林華侑 | 正風流一光会 | 桐生一光 |



九月の奉納献華

- | | | | |
|-------|------|--------|------|
| 古流松藤会 | 岩波理豊 | 桂古流 | 高橋典花 |
| 池坊 | 草谷智花 | 草月流 | 竹下尚峰 |
| 草月流 | 沖山草俊 | 正風流一光会 | 桐生一光 |
| 桂古流 | 小林華侑 | 春草流 | 栗原春彩 |
| 古流松藤会 | 川嶋理智 | | |

境内整備事業



①②敷石・バリアフリー化工事
 東門脇のバリアフリー化工事を行い、楼門から段差無く神札所まで続くようになりました。また、松尾神社脇の敷石工事を行いました。

③④滝造成
 神池の浚渫作業が概ね終了した事により、神池に水を戻しました。宗像神社の南西部に循環する滝を造成し、池の水を一部循環するように致しました。水流を作る事で池の浄化を促す事を目的としております。また満々と水を溜めてより、鴨の親子が住み着き、参拝にみえた方々の癒しとなりました。

⑤さざれ石移設
 この度、勅使館近くに奉安してありましたさざれ石を、三の鳥居近くに移設致しました。

埼玉県護国神社



修祓



祝詞奏上



遺族会童謡奉納

埼玉県における英霊祭祀は、明治十年に起こった「西南の役」の埼玉県出身者七十余名の戦没者の慰霊祭を行ったことに始まります。その後の日清、日露戦争後、各町村では英霊碑を建設、第一次大戦後には盛大に慰霊祭を齋行致しました。相次ぐ戦役に戦没者は増加し、招魂社建設の機運が高まりました。美しい氷川公園内（現大宮公園）に昭和八年に建設開始、九年四月八日に竣工、翌四月九日に氷川神社宮司が齋主となり鎮座招魂祭が齋行されました。本年は御鎮座より八十五年目を迎えております。御祭神は、西南の役以来の戦没者五万一千百八十柱をお祀りしております。

八月十五日は終戦の日にあたり、みたま祭が齋行され、祭典中、遺族会女性部により童謡「海ゆかば」、「里の秋」、「ふるさと」が奉納されました。

靖国神社



写真提供：靖国神社

明治天皇が命名された「靖国」という社号は、「国を靖(安)んずる」という意味で、靖国神社には「祖国を平安にする」「平和な国家を建設する」という願いが込められています。

本年、創立百五十年を迎える靖国神社は東京都千代田区九段に鎮座する、もと別格官幣社で、嘉永六年以来の殉国者二四六万六千余柱をお祀りしております。春(四月二十二日)、秋(十月十八日)の例祭には勅使を差遣され奉幣される勅祭社であります。別格官幣社とは国家に功績を挙げた人臣を祀る神社で、楠木正成公を祀る湊川神社や徳川家康公を祀る東照宮などがあります。

また遊就館では、御祭神の御遺書や御遺品をはじめ、英霊のまごころや御事蹟を今に伝える貴重な史資料が展示されております。

ふくろ絵馬を奉納してみましよう

①絵馬に、願い事とあなたのお名前を書き込みます。
※ふくろ(ちりめんの中着)は全部で10色ございます。お好きな色をお選びください。



②願いを書いた絵馬を、ふくろに入れます。
※願いを込めながら絵馬を少し折り曲げると、巾着がふくろきれいにふくらみます。

③絵馬を入れたふくろを絵馬掛けに掛けます。色とりどりの願い事に思いを馳せてみてください。



ふくろ絵馬奉製

此の度、新たにふくろ絵馬を奉製致しました。願い事を書いた絵馬を色とりどりの袋に入れて絵馬掛けにお掛け下さい。袋は全部で十色ございます。

(初穂料五〇〇円)



古絵葉書集 発行予定

明治末期から昭和初期の絵葉書をまとめた古絵葉書集です。



今年度中発行予定

第十二号は令和二年一月十五日発行予定です



十二月十日

武蔵 氷川神社 大湯祭



武蔵菊花会菊花展 11月1日~15日

発行 令和元年10月15日
写真協力 宮野信昭 中村写真館

発行所 氷川神社社務所
印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>